

インフルエンザ患者報告数が、注意報レベルを超えました ～感染予防に努めましょう～

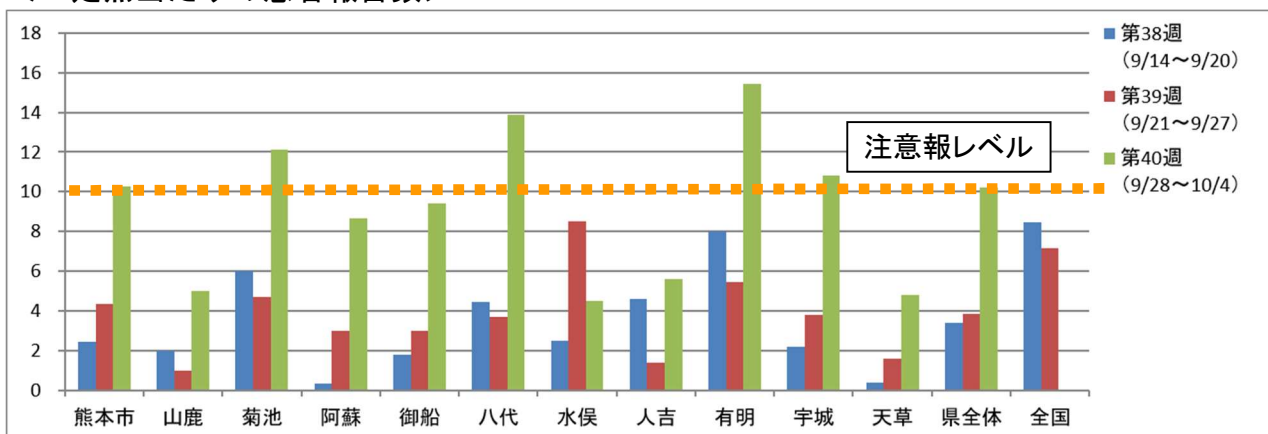
○令和8年（2026年）第40週（9月28日～10月4日）の熊本県感染症発生動向調査で、県全体のインフルエンザの一定点当たりの患者報告数（※）が、10.20（定点数71か所、報告数724）となり、注意報レベル（一定点当たり10）を超えました。

○保健所別では有明（一定点当たり15.43）、八代（同13.86）、菊池（同12.14）、宇城（同10.80）、熊本市（同10.26）の順に高くなっています。

○これから患者数の増加が予想されますので、一人ひとりが正しい知識を身につけて、「手洗い」「マスクの着用を含む咳エチケット」「定期的な換気」などの基本的な感染対策をしっかりと実行しましょう。特に、医療機関や高齢者施設、保育所、幼稚園、学校など集団生活の場では、徹底した感染予防に努めてください。また、ワクチン接種も有効です。詳しい予防対策は、国や県のホームページを御覧ください。

※一定点あたりの患者報告数とは、1週間のうち定点医療機関（あらかじめ選定された県内71医療機関）から報告された患者数を定点医療機関数で除した値です。

<一定点当たりの患者報告数>



※全国の第40週の情報は、厚生労働省が10月9日（金）に公表予定。

<保健所別一定点当たりの患者報告数>

網掛け：注意報レベル、**警報レベル**

	熊本市	山鹿	菊池	阿蘇	御船	八代	水俣	人吉	有明	宇城	天草	県全体	全国
第40週 (9/28~10/4)	10.26	5.00	12.14	8.67	9.40	13.86	4.50	5.60	15.43	10.80	4.80	10.20	
第39週 (9/21~9/27)	4.35	1.00	4.71	3.00	3.00	3.71	8.50	1.40	5.43	3.80	1.60	3.86	7.17
第38週 (9/14~9/20)	2.43	2.00	6.00	0.33	1.80	4.43	2.50	4.60	8.00	2.20	0.40	3.38	8.48

《参考》

厚生労働省ホームページ「インフルエンザ（総合ページ）」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuenza/index.html

熊本県ホームページ「今冬のインフルエンザ総合対策に取り組みましょう（2025-2026 シーズン）」

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/30/217990.html>

（連絡先）

健康危機管理課 感染症対策班 担当：櫻田、徳永
電話：096-333-2240（33154）

（裏面あり）

【現在のインフルエンザ流行状況】

- ① 全国の令和8年（2026年）第39週（9月21日～9月27日）の定点当たりの患者報告数は「7.17」となっています。

※厚生労働省の全国の発表は、毎週金曜日のため、1週古い情報になります。

- ② 今シーズンに入って国内各地で検出されたウイルスはA型が最も多くなっています。

※インフルエンザウイルスは大きくA型・B型・C型に分類され、国内で報告されるのは、主にA型とB型です。

【インフルエンザはどんな病気？】

- ① 突然の高熱と寒気、頭痛、全身のだるさ、筋肉痛などの全身症状が特徴です。
② 時には肺炎や脳症などを併発して重症になることもあります。
③ インフルエンザはその年により流行の程度に差がありますが、例年11月から12月に始まり、翌年の1～3月頃の間には患者数が増加します。

【インフルエンザの予防法は？】

- ① 流行時には人混みを避ける。
② 20秒以上時間をかけた丁寧な手洗いを習慣づける。
③ 栄養・休養・睡眠を十分に取る。
④ 部屋の換気と保湿に心がける。
⑤ 咳エチケットを守る。
◆咳・くしゃみの際はティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむけましょう。
◆使用後のティッシュは、すぐにフタ付きのゴミ箱に捨てましょう。
◆咳をしているときは、マスクをつけましょう。
⑥ 医師に相談のうえ、ワクチン接種を検討する。

【インフルエンザにかかったらどうすればよいの？】

- ① 安静にし、十分な休養を。学校や職場へは無理して行かない。
② 早めに医療機関を受診して治療を受ける。
③ 水分（お茶、ジュース、スープなど）を十分に補給する。
④ 周りの人へうつさないために、人が多い場所への外出を控える。
⑤ 咳エチケットを守る。

【過去のシーズンのインフルエンザ流行状況】 第36週～翌年第35週までがシーズンと定められています

シーズン	流行入りした週 (※1)	注意報レベルに 達した週(※2)	警報レベルに 達した週(※3)	シーズン中、最も報 告が多かった週
2023～2024	昨シーズンから流行	令和5年第39週 (R5.9.25～10.1)	令和5年第47週 (R5.11.20～11.26)	令和5年第49週 (R5.12.4～12.10)
2024～2025	令和6年第42週 (R6.10.14～10.20)	令和6年第50週 (R6.12.9～12.15)	令和6年第51週 (R6.12.16～12.22)	令和6年第52週 (R6.12.23～12.29)
2025～2026	令和7年第37週 (R7.9.8～9.14)	令和7年第46週 (R7.11.10～11.16)	令和7年第47週 (R7.11.17～11.23)	令和7年第50週 (R7.12.8～12.14)
2026～2027	令和8年第36週 (R8.8.31～9.6)	令和8年第40週 (R8.9.28～10.4)	—	—

- 【国が定める基準】※1 流行入り ・ ・ 一定点当たりの患者報告数 1
※2 注意報レベル ・ ・ 一定点当たりの患者報告数 10
※3 警報レベル ・ ・ 一定点当たりの患者報告数 30